

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	北名古屋市ひまわり園		
○保護者評価実施期間	R7年1月1日		～ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R7年1月1日		～ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援・家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子療育なので、相談できる環境の中で、親子で実体験ができる。</li> <li>・子どもの特性を理解し、特性に合った関わりを共に考えながらより良い親子関係を作っていける。</li> <li>・園児だけでなく、きょうだい児の相談も受けることができる。</li> </ul>	<p>&lt;地域療育支援事業&gt; 青い鳥医療療育センターの療育担当、他関係機関の職員にも参加してもらいより良い支援方法や移行方法を検討し、実際の支援に生かしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの親子の状況・特性を理解し、今すべき支援を見極め、より良い支援方法を見つけていく。</li> </ul>
2	職員の連携、専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児、保護者の支援で共有が必要なことは、職員間で共有できるようにできる限り早く職員会議を行うようにしている。</li> <li>・今までの療育での経験を生かし、一人ひとりに合った支援方法を計画し、実行し、評価し、改善する(PDCAサイクル)を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の連携を図り、保護者からの聞き取りの内容などをその日の内か朝の打ち合わせの時に共有するようにする。</li> <li>・園児の現状をしっかりと把握し、保護者の思いも聞き取り、希望に沿った支援方法について、職員間でいろいろな意見を出し合い、また専門家の意見も聞き、より良い支援方法を計画できるようにしていく。</li> </ul>
3	専門家による療育指導及び療育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士、音楽療法士の方々に専門的な指導を受けている。</li> <li>・地域療育支援事業、合同研修などで、療育のアドバイスを受け、療育指導及び療育相談を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家の意見を聞き、日ごろの療育方法を見直し、園児にあった適切な支援を行っていく。</li> <li>・外部の方々の意見も参考にし、園児に合ったより良い支援方法を行っていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	
1	ひまわり西園・関係機関・地域の方との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ以前に行われていたひまわり西園や関係機関の方々・地域に方々参加の行事が、復活できていない。大きく行うことは難しいが、何ができるのか考えていく必要がある。</li> </ul>	
2			
3			